

# 多党派時代、総括質疑に8人登壇

8月15日に政和クラブが分裂して4党派が新たにつくられたことで、議会は議長を除くと9党派になりました。「多党派乱立」と呼ぶ人もいますが、このことが議会での議論の活発化につながれば、評価の声も出てくることと思います。

さて、9月議会。1日、4日と行われる総括質疑には、各派から8人が登壇します。発言通告によれば、17年度の各会計決算や18年度一般会計補正予算、「上越市みんなで防災安全安心まちづくり条例」などでの質疑がくりひろげられます。

## 杉本団長は4日午後登壇します

日本共産党議員団からは杉本議員団長が4日午後、ラストバッターとして登壇します。杉本団長の発言通告内容は議員団で協議して決めたものです。質疑の主な内容は、

【平成17年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について】

(1)当初予算は1008億円の規模であったが、歳出決算は980億円である。23億円の減少が市民生活に影響を及ぼしていないか。

(2)新市建設計画との整合性をどう図ったか。

(3)普通建設事業費が、当初予算より22億円、新市建設計画より20億円減少しているが、合併1年日に施行が約束された事業を反故にしていないか。

【上越市みんなで防災安全安心まちづくり条例の制定について】

(1)「防犯条例」や「犯罪をなくす条例」ではなく「まちづくり条例」とした理由は何か。「まちづくり条例」でありながらまちづくりの視点が欠如しているのではないか。

(2)市民、地縁団体、事業者、土地所有者の責務として、「市がこの条例に基づき実施する施策に協力するよう努めるものとする」となっているが、具体的にどのようなことを想定しているのか。

(3)「土地所有者等の責務」を市独自に規定されたが、すべての所有者を対象としているのか。

(4)「地域に開かれた学校」を目指していると思うが、この条例の施行により、閉ざされた学校にならないか。

(5)防犯設備を過度に設置すると「常に監視されている」という不安を市民に与えることにならないか。

## 永島総務委員長、滝沢議運委員長辞任へ

政和クラブの分裂に伴い、注目されていた常任委員長人事ですが、永島総務委員長、滝沢議運委員長が委員長職を辞任する意思を固めたことが、30日の各派代表者会議で報告されました。これを受けて話し合った結果、9月議会初日に正式辞任、同日、新委員長選出という形で決着する見込みとなりました。

上越市議会では、会派のメンバー数に応じて常任委員会の役職を振り分けるのが、これまでの慣例でした。山岸議長は、各派に「今回は、これまでのやり方で」と要請していました。



## 現在の上川谷の県道災害復旧工事現場です

昨年6月の豪雨災害で通れなくなった吉川区上川谷の県道。「雪が降るまでに通れるようにする」と約束されている工事の、8月29日現在の写真です。

8月26日の川谷地区運動会(旧川谷小学校グラウンドで開催)には、上川谷の人たちが尾神岳の市道をまわり、40分もかけて参加しました。

## 日本共産党上越市議員団ニュース

61 2006年9月3日  
 連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
 樋口良子 544-6802 (中門前3)  
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)



【ミズキボウシ】  
三和区北代にて8月29日撮影。



## 頸城区後援会で焼き肉の集い

8月27日、上野公悦事務局長宅前で恒例の「焼き肉とビールの集い」が開かれ、約60人が楽しく交流しました。これには橋爪、樋口両議員が参加し、激励の挨拶をしました。

交流会では、合併後の市政の動きのことや小泉政治への不満などが語られました。また、生活相談も寄せられました。